

公開日 令和6年2月20日

事業所名 さんらいず

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか		○		スペースがせまいため人数が多い時は、体育館やひだまりホールを借用している。活動拠点を合戦原に移すことで改善される。毎日利用者に応じて、活動場所、配置を検討工夫している。新さんらいずは広々と活動ができる。
	② 職員の配置数は適正であるか		○		適正な数だが利用者の実態によっては足りない。保育士さんもいるといいなと感じる。 放デイ9名利用の日は利用者の子どもを数名ずつグループ分けして支援していた。 次年度指導員1名増加し、さらに適正な支援が期待できる。
	③ 事業所の設備等の設備について、バリアフリー化の配慮が適正になされているか		○		新さんらいずでは、バリアフリー化の配慮を進めていきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			改善を図るため、全職員から意見を求め、話し合いを進めている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			話し合って改善につなげている。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は悉皆ではなく任意となっています。評価機関に依頼すると高額な料金が掛かり、現在の状況では厳しいです。今後状況に沿って実施を検討し、業務改善につなげていきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	時間がなためできていないこともある。経験豊富な職員が多く、利用者の実態より知恵を出し合って支援の仕方を学んでいる現状。オンラインによる研修を受けた職員あり、今後も積極的に受講したい。
適切な支援の	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画・児童発達支援計画を作成しているか	○			年2回の面談で計画等は、確認できている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールの様式を書き込みやすい形に改善し、作成記入する予定。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫ 活動プログラムが固定しないように工夫しているか	○			
	⑬ 平日、長期休暇に応じて、課題を細やかに設定して支援しているか	○			事前に課題の準備をしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画・児童発達支援計画を作成しているか	○			

提供	15	支援活動前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			月～木で打ち合わせできている。長期休みは難しいためLINEで確認してる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録を基に各自で行っている。行事の後は職員からの意見を募り振り返りをしている。その日には、難しいため、次の日の打ち合わせで確認している。 翌日はLINEになることもあるが情報共有に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌やリタリコに日々の記録を記入し、支援の改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画・児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には、必ず担当者が参加している。 ケースに要っては学校関係(担任)が入らなかったり、担当者会議が開かれないケースがある。
	20	学校・保育所との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			利用予定表を月1で配布し確認している。保護者さんからも教えて頂いている。
	21	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			マニュアルを作成している。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所、幼稚園と可能な範囲で情報共有に努めている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を共有する等しているか			○	R6年に初めて卒業生が出る。 今後は、相談支援事業所等を通して聞きたい。 今後実施する予定(支援学校高等部卒業生について) 今年度初めて移行する卒業生がいる。移行支援会議が実施できるように進めている。3月実施予定となった。
	24	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	未実施
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍でできていない。今後増やす機会作りをしたい。 外出する際、公園や公共施設等で一緒に活動する機会がある。さらなる機会を検討していきたい。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			代表で保志Tが出ている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか			○	さんらいず開所時に広く講演会を実施した。面談や日々保護者とのやり取りの中で助言させて頂いている。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に話をしているが理解しているかは不明。 必要であれば保護者へ更新時確認しても良いかも。 契約の際に説明を行っている。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後保護者へ提案し、ニーズを集約しながら進めていきたい。
	③③	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報以外にLINE等で個々にその日の活動の様子を写真、動画で伝えている。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	ポラリス主催のアート展に参加。以前は実施していたが、コロナ関係で控えていた。次年度状況に応じて進めていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			契約時やその他でプリントにて配布し理解していると思われる。必要な際は、面談で確認していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事例なし
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応をしているか			○	支援体制の話し合いでは対応について確認しているが、研修会としては実施していない。
	④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			車内でシートベルトを外してしまう利用者へ、ジュニアシートに胸ベルトを加える場合(事例)があるが、保護者の了承を得ている。